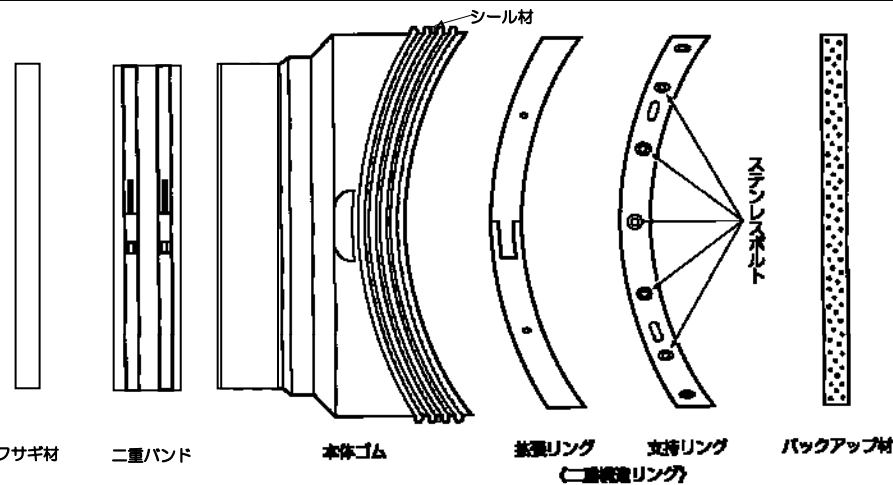


# スページョイントSR (プラスチックパイプ用) 施工手順

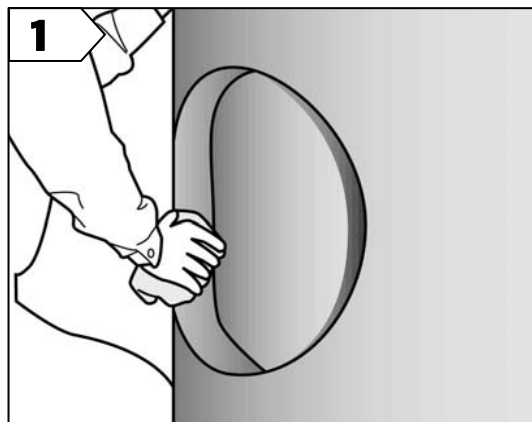
＜製品の内容＞ ①本体ゴム ②二重リング(本体ゴムに組込済) ③ステンレスバンド(2本) ④バックアップ材

＜用意するもの＞ 1.トルクレンチ(ヘキサゴン5mm) 2.ウエス 3.ボックスドライバー(8mm)

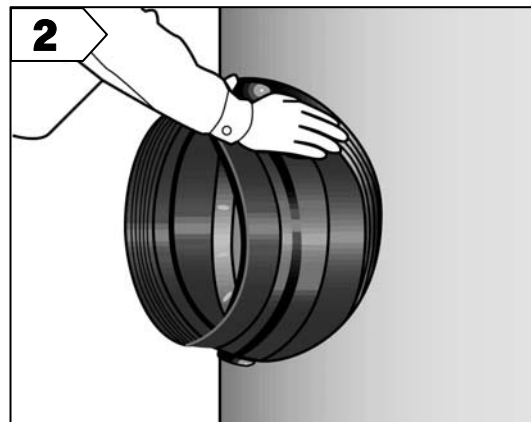


- 削孔面に段差等がある場合は、補修してから製品を取り付けてください。
- 削孔径の許容範囲は+2mm、-1mmです。許容範囲を超える場合は、ご相談ください。
- 埋め戻しの際、不同沈下が生じないように、継手下部は十分に締め固めてください。
- 単管への接続(将来管等4m以下の接続)等、通常使用以外での使用はできません。やむを得ず使用する場合は適切な処置を行ってください

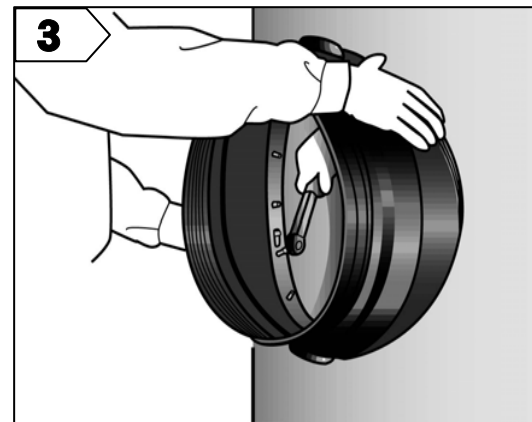
## ジョイント取付



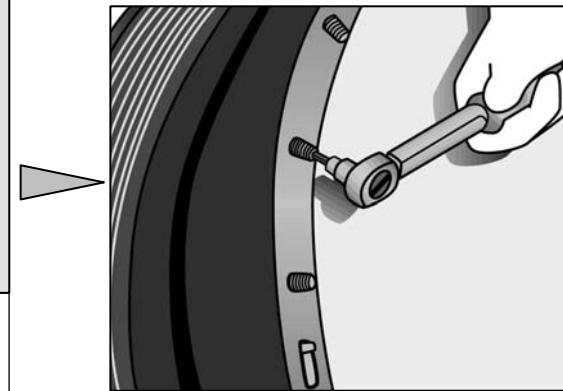
● 削孔面のホコリ等をウエスなどで、取り除きます。



● シール材の離型紙を取り、本体ゴムの↑印を真上にして、ストッパー位置まで押し込み、装着します。



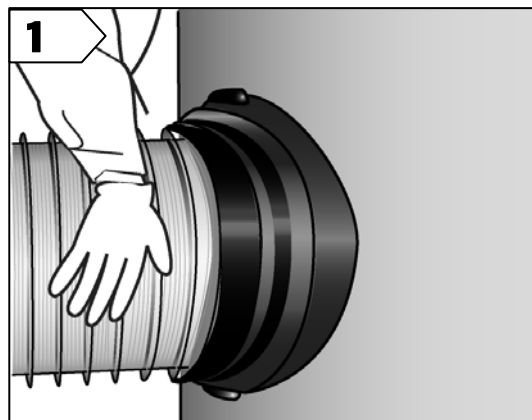
● 【仮締め】と【本締め】を行い、本体ゴムをマンホールに固定します。



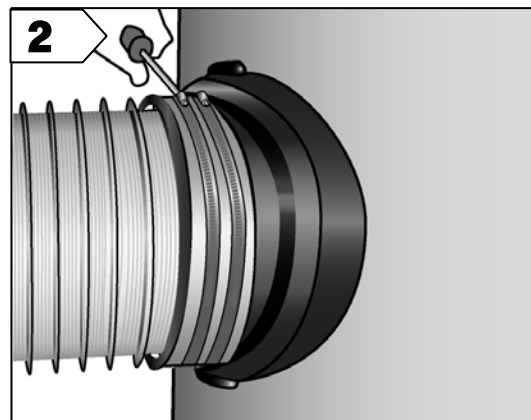
## 一削孔径とボルト数一

本管種類・呼び径 (mm)	削孔径 (mm)	ボルト数 (個)
PRP 300	Aタイプ 420	15
	Bタイプ 410	
350	Aタイプ 474	17
	Bタイプ 464	
400	530	17
450	586	17

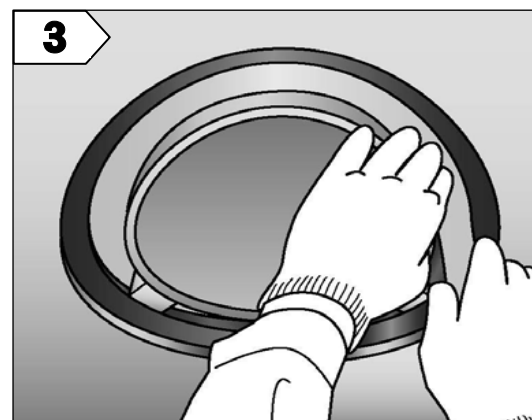
## 本管取付



● 本管にフサギ材を装着した後、本体ゴムに挿入します。(フサギ材は添付の2重バンドの下になる位置に装着して下さい)  
※本管取付時に、本管に強い衝撃を与えないでください。

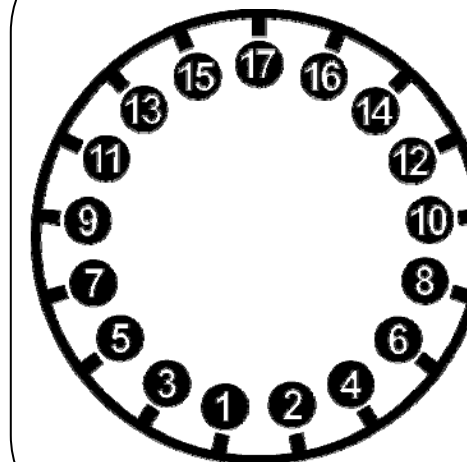


● ボックスドライバーで、ステンレスバンドを交互に充分締め付けます。(片締めにならないように充分注意して下さい)  
※締め付けトルクは10N・m程度



● ゴム可とう部と本管との間にバックアップ材を挿入します。  
● 化粧目地仕上げを行います。

## 【仮締め】と【本締め】



PRP400

- ボルト仮締め (例: PRP-400 の場合)
  - 1) 図に示すボルト①② (下部の2本のボルト) と⑩ (頂点のボルト) をネジ山が4山残るまで締める。
  - 2) 他のボルトを③→④, ⑤→⑥と下部から左右交互にネジ山が4山残るまで締める。
- ボルト本締め (例: PRP-400 の場合)
  - 1) (一巡目) 図の順番にボルト①→⑩まで、均等なトルク (10 N・m) で締める。
  - 2) (二巡目) 図の順番にボルト①→⑩まで、均等なトルク (16 N・m) で締める。

※ボルトの本数はサイズによって異なります。